

# シリーズ 三郷学

## 〈三郷学の視点⑤3〉

### 三郷学の実践

#### 28. 資源(よみがえる彦成小学校講堂)

彦成小学校講堂記念館が、今年12月に改装オープンしました。この記念館は、大正15年3月に、当時の彦成村立尋常高等小学校講堂として建築された、蝶や花の透かし彫りを施した大正建築物です。講堂は、学校行事のほかに、村の行事にも使用されてきました。成人式などの各種式典に利用されたこともあります。

「村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめんと教育熱意あつく、子弟の教育のためには、なにごとも惜し

まない」(昭和48年発行「彦成小学校百年誌」より)と唱われた地域と学校関係者の熱意、そして人々の少年期・青年期の思い出が残る建物です。

平成4年5月からは、三郷市立郷土資料館として、市民の思い出が残る懐かしい「ふるさと再発見」の歴史と文化を公開・展示してきました。

そして、今年度、彦成小学校講堂記念館として、かつての講堂の姿を復元し、三郷市の教育・学校に関する資料館に生まれ変わりました。

彦成小学校講堂記念館は、訪れた人々に三郷の歴史を伝え、三郷「人」を育ててくれる大切な資源です。

